

専門実践教育訓練明示書^(1/3) 岐阜市医師会看護学校

講座の名称	専門課程 看護学科														
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)														
指定講座番号	7	1	0	0	9	—	1	8	1	0	0	1	—	6	
講座の創設年月日	令和3年4月1日から				令和6年3月31日まで				過去一年の講座実績			入講者数(39人)		修了者数 (40人)	
訓練期間	36ヶ月							総訓練時間			2250時間				
1. 教育訓練目標															
①取得目標とする資格の名称、目標レベル								<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 (看護師) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> 専門職学位 () <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等							
②①に係る資格・試験等の実施機関名称								厚生労働省							
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等								厚生労働省の指定する養成施設又は文部科学省の指定する学校で保健師助産師看護師法に定められた要件を満たしていること							
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況								看護師免許を有することで従事できる医療・福祉施設での看護業務							
2. 教育訓練の内容															
教科 (カリキュラム)								時間			使用教材名				
情報科学								30 時間			医学書院別巻 看護情報学、今すぐ使えるかんたんExcel2016				
生命科学								30 時間			医学書院:系統看護学講座基礎分野生物学				
論理学								30 時間			なし				
人間関係論								30 時間			医学書院:基礎分野 人間関係論				
外国語								30 時間			クリスティーンのやさしい看護英会話				
健康とスポーツ								30 時間			なし				
社会学								30 時間			メディカルフレンド:基礎科目 社会学				
心理学								30 時間			有斐閣ストウディア:対人援助と心のケアに活かす心理学				
人体の構造と機能 I								30 時間			人体の構造と機能 I 解剖生理学				
人体の構造と機能								30 時間							
生化学								30 時間			ヌーベルヒロカワ:わかりやすい生化学				
栄養学								30 時間			医学書院:人体の構造と機能3 栄養学				
疾病論								30 時間			医学書院:疾病のなりたちと回復の促進 I 病理学 疾病のなりたちと回復の促進2 病態生理学				
疾病治療論 I								30 時間			医学書院:疾病のなりたちと回復の促進 I 病理学 疾病のなりたちと回復の促進2 病態生理学 成人看護学 7, 10, 12, 13, 14				
疾病治療論 II								30 時間			医学書院:疾病のなりたちと回復の促進 I 病理学 疾病のなりたちと回復の促進2 病態生理学 成人看護学 2, 3				
疾病治療論 III								30 時間			医学書院:疾病のなりたちと回復の促進 I 病理学 疾病のなりたちと回復の促進2 病態生理学 成人看護学 5, 8, 15				

疾病治療論Ⅳ	30 時間	医学書院: 疾病のなりたちと回復の促進 1 病理学 疾病のなりたちと回復の促進 2 病態生理学 成人看護学 4, 6, 11
疾病治療論Ⅴ	30 時間	医学書院: 疾病のなりたちと回復の促進 1 病理学 疾病のなりたちと回復の促進 2 病態生理学 成人看護学 9 メディカ: ナーシンググラフィカ 母性看護学 1 母性看護学実践の基本、母性看護学 2 母性看護技術
微生物学	30 時間	医学書院: 疾病のなりたちと回復の促進 4 微生物学
薬理学	30 時間	医学書院: 疾病のなりたちと回復の促進 3 薬理学
公衆衛生学	30 時間	ヌーベルヒロカワ: わかりやすい公衆衛生学
社会福祉	30 時間	医学書院: 健康支援と社会保障制度 3 社会保障・社会福祉
関係法規	15 時間	医学書院: 健康支援と社会保障制度 4 看護関係法令
リハビリテーションと動作支援	15 時間	なし
基礎看護学Ⅰ	30 時間	メディカルフレンド: 看護学概論 臨床看護総論、日本看護協会出版: 科学的看護論 講談社: ナースが視る病気
基礎看護学Ⅱ	30 時間	メディカルフレンド: 基礎看護技術Ⅰ 臨床看護総論、日本看護協会出版: 科学的看護論 講談社: ナースが視る病気
基礎看護学Ⅲ	30 時間	メディカルフレンド: 基礎看護技術Ⅰ 臨床看護総論、日本看護協会出版: 科学的看護論 講談社: ナースが視る病気
基礎看護学Ⅳ	30 時間	メディカルフレンド: 基礎看護技術Ⅱ 臨床看護総論、日本看護協会出版: 科学的看護論 講談社: ナースが視る病気
基礎看護学Ⅴ	30 時間	メディカルフレンド: 基礎看護技術Ⅱ 臨床看護総論、日本看護協会出版: 科学的看護論 講談社: ナースが視る病気
基礎看護学Ⅵ	30 時間	メディカルフレンド: 基礎看護技術Ⅰ 臨床看護総論、日本看護協会出版: 科学的看護論 講談社: ナースが視る病気
基礎看護学実習	90 時間	なし
成人看護学Ⅰ	30 時間	医学書院: 成人看護学 2 成人看護学総論、講談社: ナースが視る病気、日本看護協会出版会: 科学的看護論
成人看護学Ⅱ	30 時間	医学書院: 成人看護学 2、3、5、6、8、9 講談社: ナースが視る病気、日本看護協会出版会: 科学的看護論
成人看護学Ⅲ	30 時間	医学書院: 成人看護学 2、3、5、6、8、9 メディカルフレンド: 臨床看護総論 講談社: ナースが視る病気、日本看護協会出版会: 科学的看護論
老年看護学Ⅰ	30 時間	医学書院: 老年看護学 講談社: ナースが視る病気、日本看護協会出版会: 科学的看護論
老年看護学Ⅱ	30 時間	医学書院: 老年看護学 老年看護病態・疾患論 成人看護学 6、7、10 講談社: ナースが視る病気、日本看護協会出版会: 科学的看護論

老年看護学Ⅲ	30 時間	医学書院: 老年看護学 老年看護病態・疾患論 成人看護学10 メディカルフレンド: 臨床看護総論 講談社: ナースが視る病気、日本看護協会出版会: 科学的看護論
母性看護学Ⅰ	30 時間	ナーシング・グラフィカ母性看護学① 母性看護実践の基本 講談社: ナースが視る病気、日本看護協会出版会: 科学的看護論
母性看護学Ⅱ	30 時間	ナーシング・グラフィカ母性看護学① 母性看護実践の基本 母性看護学②母性看護技術 講談社: ナースが視る病気、
母性看護学Ⅲ	30 時間	ナーシング・グラフィカ母性看護学① 母性看護実践の基本 母性看護学② 母性看護技術 講談社: ナースが視る病気、日本看護協会出版会: 科学的看護論
小児看護学Ⅰ	30 時間	医学書院: 小児看護学① 小児概論・臨床総論 講談社: ナースが視る病気、日本看護協会出版会: 科学的看護論
小児看護学Ⅱ	30 時間	医学書院: 小児看護学① 小児概論・臨床総論、小児看護学② 小児概論、講談社: ナースが視る病気、
小児看護学Ⅲ	30 時間	医学書院: 小児看護学① 小児概論・臨床総論 小児看護学② 小児各論 講談社: ナースが視る病気、日本看護協会出版会: 科学的看護論
精神看護学Ⅰ	30 時間	ナーシング・グラフィカ: 精神看護①情緒発達と精神看護の基本 講談社: ナースが視る病気、日本看護協会出版会: 科学的看護論
精神看護学Ⅱ	30 時間	ナーシング・グラフィカ: 精神看護①情緒発達と精神看護の基本 精神看護学②精神障害と看護実践 講談社: ナースが視る病気、
精神看護学Ⅲ	30 時間	ナーシング・グラフィカ: 精神看護学①情緒発達と精神看護の基本 精神看護学 ②精神障害 と看護実践 講談社: ナースが視る病気、日本看護協会出版会: 科学的看護論
成人看護学実習	90 時間	なし
老年看護学実習	90 時間	なし
母性看護学実習	90 時間	なし
小児看護学実習	90 時間	なし
精神看護学実習	90 時間	なし
在宅看護論Ⅰ	30 時間	ナーシング・グラフィカ 地域医療を支えるケア在宅看護論 在宅医療を支える技術 在宅看護論② 講談社: ナースが視る病気、日本看護協会出版会: 科学的看護論
在宅看護論Ⅱ	30 時間	ナーシング・グラフィカ 地域医療を支えるケア在宅看護論 在宅医療を支える技術 在宅看護論② 講談社: ナースが視る病気、
在宅看護論Ⅲ	30 時間	ナーシング・グラフィカ 地域医療を支えるケア在宅看護論 講談社: ナースが視る病気、日本看護協会出版会: 科学的看護論

看護の統合と実践Ⅰ	30 時間	メディカルフレンド:基礎看護学1看護学概論 基礎看護学2基礎看護技術Ⅰ基礎看護学3基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学4臨床看護総論、日本看護協会出版:科学的看護論 講談社:ナースが視る病気
看護の統合と実践Ⅱ	30 時間	ナーシンググラフィカ看護の統合と実践①看護管理看護の統合と実践②医療安全
看護の統合と実践Ⅲ	30 時間	ナーシンググラフィカ看護の統合と実践③災害看護
看護の統合と実践Ⅳ	30 時間	照林社:看護のためのわかりやすいケーススターティの考え方 南江堂:かんたん看護研究
在宅看護論実習	90 時間	なし
看護の統合と実践実習	90 時間	なし
3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)		
①受講するに当たって必要な実務経験等	なし	
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校卒業程度で准看護師免許を有しているもの	
③その他		

〔特記事項〕

--

専門実践教育訓練明示書 (2/3) 岐阜市医師会看護学校

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1) 資格取得状況					
① 前年度の修了者数	40	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	40	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	40	人	受験率(②/①)	100.0	%
④ ③のうち合格者数	40	人	合格率(③/②)	100.0	%
⑤ ②(入講数)のうち就職者数 ※1	37	人			
⑥ ②(入講数)のうち在職者数 ※2	3	人			
※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。 この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。					
※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。					
(2) 受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数	35	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	7			
	2 非正社員、派遣社員	26	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 学生	2	人	②B: 非就業者計	2
	5 求職中	0	人		
	6 その他(主婦、無職等)	0	人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	31	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	33
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	2	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	1	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	2
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	1	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	2
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	1	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	1	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	6	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	35
	2 おおむね満足	13	人		
	3 どちらとも言えない	15	人		
	4 やや不満	1	人		
	5 大いに不満	0	人		
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	カリキュラムの進行に応じた試験を実施し、習得度を確認し履修状況を把握する				
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					

専門実践教育訓練明示書 (3/3) 岐阜市医師会看護学校

6. 受講効果の把握方法																
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的な基準)	各科目の単元の出席時間数が授業時間数の5分の4以上、また科目の試験の判定が60点以上とする。(学則第9条)															
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	科目の単元ごとの試験により評価を算出。希望者に対しては補強指導を行っている。															
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	厚生労働省の指定する養成所であるので、保健師助産師看護師法に定められた単元及び時間数を満たし、科目の単元の評価が「可」以上の者が終了とみなされる。(学則第10条)															
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	科目の単元の試験の判定が、「優」「良」「可」「不可」で評価し「可」以上を合格とする。															
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法																
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	質問等を随時受け付けて不明な点を解決する。また、授業録に学びの内容を記述し、分からないところは授業の講師に解答し補強する。															
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 <small>(例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人材情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)</small>	資格取得関連情報の提供と習熟度に応じて強化し看護師国家試験に臨む。就職情報を掲示、就職相談等面談をしている。															
8. その他の事項																
指定教育訓練実施者名及び代表者名	一般社団法人 岐阜市医師会 (代表者: 広瀬 洋)															
住所及び連絡先	岐阜市青柳町五丁目4番地		TEL 058-255-1550													
施設名称及び施設長名	岐阜市医師会看護学校 (施設長: 広瀬 洋)															
住所及び連絡先	岐阜市青柳町五丁目3番地		TEL 058-251-0251													
苦情受付者	氏名 稗田真里 所属 看護学校	事務担当者	氏名 伊藤麻子 所属 看護学校													
連絡先	TEL 058-251-0251	連絡先	TEL 058-251-0251													
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		1,524,020 円													
支払い方法	① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	200,000 円													
	② 分割払 ③ 両方可	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	<table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr><td>第1期</td><td style="text-align: right;">220,670 円</td></tr> <tr><td>第2期</td><td style="text-align: right;">220,670 円</td></tr> <tr><td>第3期</td><td style="text-align: right;">220,670 円</td></tr> <tr><td>第4期</td><td style="text-align: right;">220,670 円</td></tr> <tr><td>第5期</td><td style="text-align: right;">220,670 円</td></tr> <tr><td>第6期</td><td style="text-align: right;">220,670 円</td></tr> <tr><td colspan="2">〔うち、必須教材費 111,609 円〕</td></tr> </table>	第1期	220,670 円	第2期	220,670 円	第3期	220,670 円	第4期	220,670 円	第5期	220,670 円	第6期	220,670 円	〔うち、必須教材費 111,609 円〕
第1期	220,670 円															
第2期	220,670 円															
第3期	220,670 円															
第4期	220,670 円															
第5期	220,670 円															
第6期	220,670 円															
〔うち、必須教材費 111,609 円〕																
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		404,145 円													
	① 任意の教材費(税込額)	161,065 円														
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0 円														
	③ 施設維持費(税込額)	180,000 円														
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	63,080 円														
	3. 総額 (1+2) (税込額)		1,928,165 円													